

のぞみ



Junior Chamber International SENDAI
公益社団法人 仙台青年会議所 2019年度 広報誌

2019.11

No. 424

02 | 理事長対談

公益社団法人 仙台青年会議所
第68代理事長

評論家・コメンテーター

武山 祐樹 × 金 美齡

内在

自身の型を確立して脚から離れる

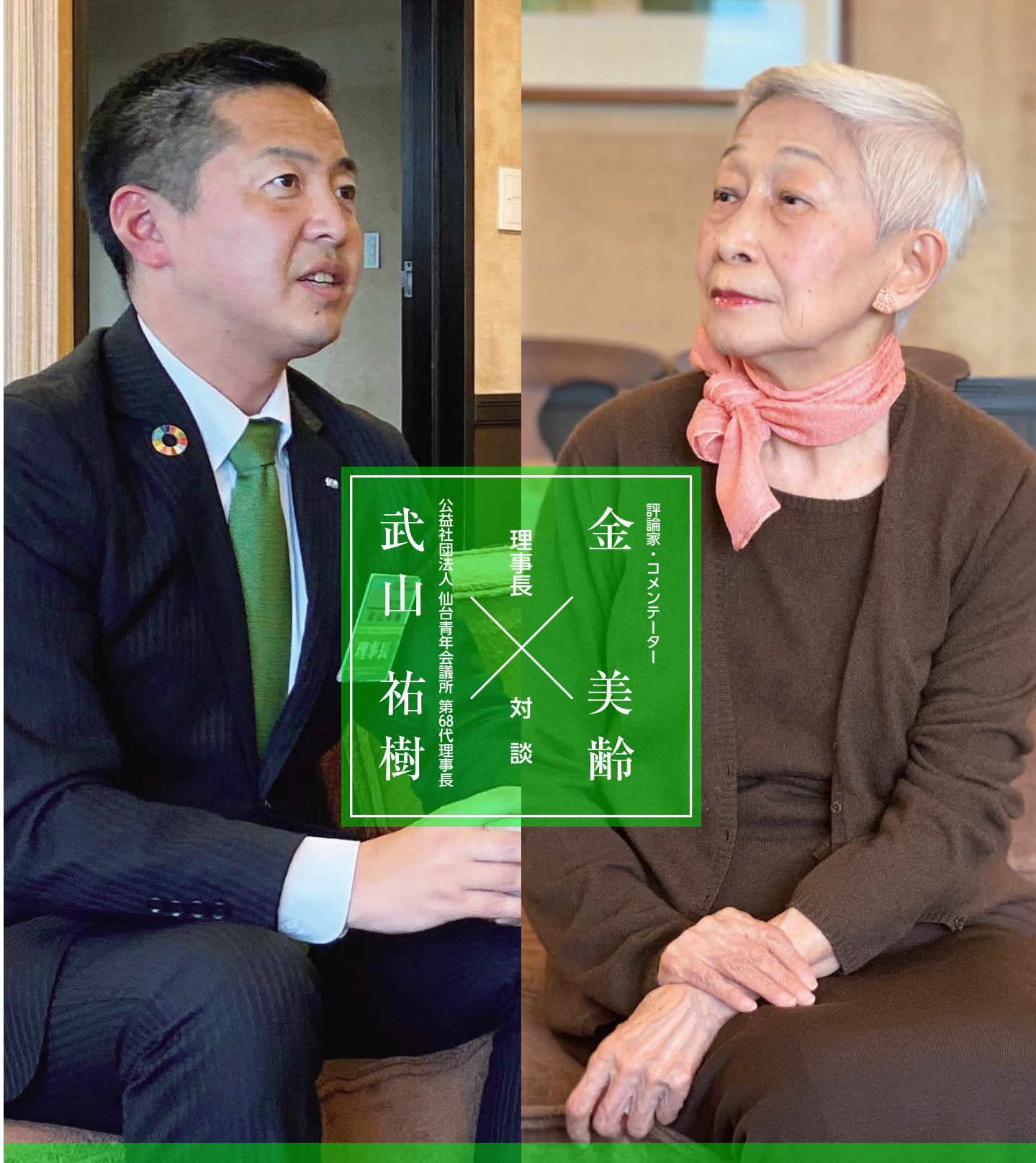
- 07 | 公益財団法人宮城県国際化協会 (MIA) 様のご紹介
- 08 | 事業報告
- 13 | 新入会員紹介
- 15 | 次年度理事長挨拶・
広報委員会委員長挨拶



<http://www.sendai-jc.or.jp>

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。





評論家・コメンテーター
金 美 齢
理事長
対 談
武 山 祐 樹
公益社団法人仙台青年会議所 第68代理事長

はじめに

武山 本年度、仙台JCでは感謝の心が漲る仙台の創造に向けて「守破離」の精神を胸に「スローガン」にまちづくり、青少年育成事業など様々な運動を展開してまいりました。

私は、少しだけ茶道を学ばせていただいたことがあり、その際に学んだ『守破離』の精神に感銘を受け、今日まで私の人生の指針としてまいりました。日本人の国民性としても過去や先人への感謝の心、敬い慮る精神性が、根底にあると思います。

私は、物事には、根幹となる軸が必要不可欠であり、それを重んじて自分の経験や知識を取り入れ発展させていくことこそが、まさに守破離の精神であり、重要なことなのだと思います。

金先生は、いかがお考えでしょうか？

金 とても大切なことだと思います。先人の方々、いわば先祖代々の方々がいなければ今の自分がないではないですか。



要するに自分の命そのものが、先人たちの積み重ねの上に成り立つわけです。現代は、物質的に豊かになってきているので、そういうことを忘れがちになっていると思います。歴史がそこにあつて今の私たちがいるわけです。両親がいて、おじいちゃん、おばあちゃんが出て、さらにその上ということでは私たちはここにいます。武山理事長がおっしゃったように、世の中は日々刻々と変化しています。昔は、仙台に行くのにも移動時間が3時間程度と長かったですが、今は1時間30分ぐらいで行けるぐらい発展しております、いろいろな変化は当然あります。

しかしながら、基本として、距離は変わらないわけです。アクセスの仕方だけ変わるだけで、距離は変わらないわけです。東京と仙台の距離というのは、客観的にはなんら変わらないわけです。ですが、アクセスの仕方によってやはり変



国際の機会について

武山 金先生のおっしゃる通りだと思います。私たちの所属する国際青年会議所は、世界134カ国に約16万人のメンバーを要する、世界最大の国際組織です。近年、米中の貿易摩擦や日韓の関係など政治上では大きな課題やわだかまりがあるのが現状です。

青年会議所でも本年度は、韓国の済州島で開催されたASPAC、エストニアで開催された世界会議、姉妹JICとの交流など様々な国際の機会があります。

この国際の機会は、政治間では解決できないまさに、市民間で民間外交を推進できる最大の場だと考えております。

この国際の機会の有用性をいかに活用すべきとお考えでしょうか？

金 まずは志でしょうね。それをやるという志です。そして考えるのに何が必要かといったら、やはりそれは知識、知性、判断力、分析力、洞察力、そういうものを自分がどれだけ、生きている間に成長するまでに、また、青年会議所を卒業してからも同じことを続けるわけですから、人間関係も大切にして、初心を忘



わっていくという、この2つのことをわきまなければいけないということだと思います。本質的に何が変わらない重要なことで、何が変わるものかということをしつかりと知らなければならぬのかと思います。

武山 そうですね、やっていることは時代の変化に伴い変わってきてても、本質的な内容は変わらない。まさに、JIC運動もその通りだと思います。ありがとうございます。

金 東京と仙台もそうだし、世界でもそういうのです。地球の大きさは変わっていないのです。だけれども、アクセスの方法が違うから、あつという間にヨーロッパにも、アメリカに行けてしまうわけです。それだけ、手法は日々変化しているのです。

れない気持ちが必要ですね。あと、私は自分が食いしん坊だから、やはり一番世界中の人々に、100%とは言わないけれども、一番魅力になるものというのは食です。食べるものです。仙台はそういう強みがあるわけでしょう。さらにはお酒、日本酒です。宮城県や仙台にもたくさんいいお酒があると思うのです。ですから、日本に各地いろいろなものがあるから、それぞれの特色と



いうのは私よりも皆さんのほうがよく知っているとします。仙台の魅力とは何ぞや、仙台というのは、おいしいものがたくさんあるわけではないですか。みんながやはり一番喜ぶというのは、夕食のときのおいしいものなのです。それを、仙台はこういうものがありますと言えればいいと思います。さらに、その次は、やはり仙台の人のおもてなしの精神ですね。それから、最後には歴史です。仙台独特の歴史、日本全体の歴史の中の仙台の歴史というのはどういふものなのかを理解していただき、他の地方と違った自分たちのものは何かをアピールできれば円滑な交流と理解が生まれると思います。

地域の国際化・組織の国際意識の重要性について

武山 ありがとうございます。

私たちの住み暮らす仙台は、2011年に発災した東日本大震災において甚大な被害を受けました。

その際に、海外諸国より多くの支援をいただき、今では、沿岸部を除けばインフラ等々の復興は、成し遂げることができたと考えております。

仙台青年会議所では、昨年度、震災からの復興とその際に海外からいただいた多くの支援に対する感謝の想いを世界に広く発信するために、昨年度の総会で、震災から10年目となる2021年に国際アカデミーという国際大会を仙台に誘致することを採択いたしました。

この国際アカデミーは、世界80カ国余



金 美齢(きん びれい)

1934年(昭和9年)2月7日生まれ。台湾出身の日本国籍の評論家、コメンテーター、政治運動家、早稲田大学非常勤英語講師、学校法人柴永国際学園JET日本語学校名誉理事長、中華民国総統府国策顧問、元台湾総統府国策顧問。長年台湾独立運動に関わってきた。2017年(平成29年)秋の叙勲で旭日小綬章を受章。

りの海外のリーダーの方々が集まり、ホームステイや文化交流など、地域を牽引する国際的視点を持った、リーダーの育成を目的としており、開催を通じて、地域の国際化やメンバー、組織の国際意識の向上が期待できると考えます。

近年、日本国内においてもグローバル化の加速が取りざたされ、地域における人口減少・高齢化に伴う生産年齢人口の減少による地域経済の縮小が危惧されております。

金先生が、お考えの地域の国際化の重

要性、市民一人ひとりが国際意識を持つことの重要性に関して、お聞かせください。

金 何が必要かという点、それはやはり自分の意志でしょう。今これだけ日本は自由な世の中であり、国際化が進んでいます。何がやりたいかというのは、やはり自分の意志で何をやりたいかと。それに伴って必要なものがたくさん出てくるわけです。青年会議所というのは国際組織として、代々受け継がれているから、国際的な意識や機運はもう根付いていると思います。そして市民の国際意識を高めていくには、まずは日本人の精神性や日本人の力を知ることです。仙台市民の力であると、同時に日本人の力でもある



わけです。

世界に出ていくときに、重要なことは言語です。何といつても英語が必要になります。また、出ていくときに、あなた方のように別に上からお金が降ってくるわけではなくてポケットマネーで出さなければいけないから、経済力も必要でしょう？

武山 そうですね。

金 何よりも経済力、語学力が必要でしょう。

それと、やはり判断力・想像力、最後には、やはり洞察力が必要なわけです。

武山 いわゆる市民の方々もそうなのですけれど、私たちJCMメンバー自身が国際意識を持つ重要性を何か教えていただけますか。

金 私は、これはいつも言うことなのだけれども、青年会議所というのは、ある意味、仲間内ですごく仲がいいし、とてもいい団体なのだけれども、自分たちが何をやっているかということを外の世界に知らせるという努力が少し足りない気がします。

ですから、私はいつも言うのだけれども、とにかく青年会議所に呼ばれて講演をするときには、いろいろな人が来るから、青年会議所はこういうことをやっていますよと、ですからサポートしてあげてねということを必ず言うのだけれども、そういう努力も必要なわけです。それから、全世界からの青年会議所メンバーが来たり、国際交流を行っているら



しゃるのは素晴らしいことで大切なことですが、青年会議所を知らない人がたくさんいるので、こういうことをやっていきますということを、市民に伝える努力がさらに重要になってくると思います。

武山 おっしゃるとおりです。いろいろなところと連携する重要性で考えると、私たちは、今年からSDGsを推進しており、その中にある目標の1つとしてNO17にパートナーシップで目標を達成するという項目があります。いわゆる関係各所と連携して、もっと力強い運動を展開していきたいというのがあるのですけれども、まさに、金先生がおっしゃるとおりだなと思っています。

金 そうなのです。私自身も自分が何をやっているかということも一人でも多くの人に知ってほしいのだけれども、そこに限界があるわけです。私がいくらおしゃべりでも、日本の人全てに想いを伝えることは不可能です。ですから、最も効率的なのは、テレビに出る、それから雑誌に書くなど、いろいろな努力をするけれども、たかが知れているのです。実際の話、本当にたかが知れています。ですが、それでも努力をし続けるということが大切だと思います。

今後どうあるべきか

武山 最後に、よく我々は、40歳以下の若い世代なので、地域で言われる責任世代などと言われます。私たち青年だからこそ、今、今後どうあるべきか、金先生

のお考えをお聞かせください。

金 年を重ねていくと、若さはうらやましいです。何かもう少し遅く生まれてくれば良かったなと思うのだけれども、自分が今やはり社会の真ん中にいるのだということを意識していくこと、先ほど、責任世代の話がありました。私たちにどう責任がないわけでもないからね。

でも青年会議所に入会している年齢はすごくいい年代というか、それをどのように、さらに一年一年をどう積み重ねていくか。上上がるのに階段を一段ずつ上がらなければいけないわけです。一段ずつ下りるのか上がるのかでは全く違ってくるわけです。上にのぼるためには、

やはり一段ずつ上がっていかなければいけないわけだから、それを自分がどうできるか。万人に同じ答えはないと思うけれども、やはり私は、先ほどあなたが言ったような、今自分がこうやって生かされている感謝の気持ちというのが基本にあります。では、それに対して、自分のお礼の、感謝というのは口だけで言っていないわけではないから、その形として自分が何を貢献できるか、常に考えていなければいけないと私は思うわけです。

武山 本日は大変貴重なお言葉ありがとうございました。

金 ありがとうございます。



理事長挨拶



公益社団法人 仙台青年会議所
第68代理事長

武山 祐樹

平素は当青年会議所に対し、格別のご高配を賜っておりますことにより感謝と御礼を申し上げます。

本年度の仙台青年会議所は、「感謝の心が漲る仙台の創造に向かって」守破離の精神を胸に「をスローガンに掲げさせていただき、メンバー一人ひとりが「感謝」の心と「思いやり」を持ち、市民の皆様と未来を見据え共に行動していくことで、誰もが夢や希望に満ち溢れたしあわせを共感できる仙台を実現するために、運動を展開してまいりました。

本年度も残り僅かとなりますが、市民の皆様をはじめとする関係各所の皆様のご協力により、地域の国際意識の高揚に向けた事業、第50回仙台七夕花火祭、防災都市確立事業、青少年育成事業等、地域の課題を解決するために、多くの事業を実施さ

せていただくことができました。これもひとえにご賛同いただきました皆様のご理解、ご協力によるものと考えております。

今後は、本年度、開催させていただきました事業効果の検証を通じて、次年度以降にしっかりと引き継いでいくとともに、メンバー一人ひとりが自己の研鑽を通じて、地域から必要とされ続ける組織へと発展できるように邁進してまいります。

結びとなりますが、子どもたちの笑顔が溢れ、市民一人ひとりが希望に満ち溢れたしあわせを共感できる仙台の実現に向けて、今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)様のご紹介

MIAとは？

当協会は宮城県の国際化や多文化共生社会の推進を目的に1987年に設立された県の外郭団体です。

MIAの活動内容は？

東日本大震災以前は1万6千人前後で推移していた宮城県内の在留外国人は、震災直後に1万4千人を割りましたが、その後は年々増加しており、2018年12月末の時点では2万1千人を超え、過去最多となりました。少子高齢化や復興需要などを背景に、多くの業界で人手不足が深刻化しており、留学生や技能実習生などの外国人が貴重な戦力になっていることが増加の主たる原因のひとつです。2019年4月には入管法が改正され、国を挙げてさらに多くの「外国人労働者」を受け入れようとしており、増加傾向は今後もしばらく続いていくことが予想されます。

当協会が県から委託を受けて運営する「みやぎ外国人相談センター」では、現在13言語で相談対応をしています。宮城に暮らす外国人はもちろんのこと、外国人に関する相談を日本人から寄せられることも多々あります。

みやぎ外国人相談センター
宮城外国人咨询中心
미야기 외국인 상담센터
Miyagi Support Center for Foreign Nationals
Miyagi Sanggunian Sentro para sa mga Dayuhan
Trung tâm tư vấn người ngoại quốc Miyagi
विदेशी नागरिकका लागिको परामर्श केन्द्र मियागी
Pusat Konsultasi Untuk Orang Asing Miyagi

毎日の生活のなかで、悩みごとや困ったことがあったら、お気軽にお電話ください。
 If you encounter difficulties in your daily life, please contact the Miyagi Support Center for Foreign Nationals.

日本語を含む13言語で対応します。

中国語 中文	韓国語 한국어	英語 English	タガログ語 Tagalog
ベトナム語 Tiếng Việt	ネパール語 नेपाली	インドネシア語 Bahasa Indonesia	ポルトガル語 Português
スペイン語 Español	ロシア語 русский	タイ語 ภาษาไทย	ヒンディー語 हिन्दी

協力：仙台弁護士会・宮城県行政書士会
 Cooperation: Sendai Bar Association / Miyagi Administrative Scrivener Association (2019年改定)

曜日・時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00 / Monday - Friday 9:00a.m. - 5:00p.m.
TEL 022(275)9990

MIAの詳細な内容はこちらから
<http://mia-miyagi.jp/>

他にはどんな活動をしているの？

医療機関や行政機関等への通訳サポートの派遣も行っています。ことばの壁は外国人だけの問題ではありません。正しく治療するために、あるいは住民サービスを等しく公平に提供するために、医療機関や行政機関にとってもコミュニケーションのお手伝いをする通訳は重要です。現状20言語以上の登録があり、外国出身者が登録者の半数以上を占めています。

そのほか、外国人の日本語学習支援や外国籍の子ども支援など、きめ細かな支援事業を行っています。詳細はHPにてご確認ください。

相談内容も多岐にわたっており、仙台弁護士会や宮城県行政書士会など専門機関とも連携して対応しています。

CENTURY 21
 コアステージ

不動産のプロフェッショナルとして信頼度地域 **No.1** を目指し、お客様の幸せに続く住まい選びをお手伝いいたします。

株式会社コアステージ
 022-722-0287 (代表)
 FAX 022-722-0286
<https://www.century21.jp/>
 〒980-0023 仙台市青葉区北目町2番39号
 東北中心ビル2階

杜の都のお弁当
味のおりがみ
 各種イベント用・会議用お弁当

ご予約・お問い合わせは
 ☎022-296-5446、☎022-296-5445

SHOOTING & DARTS BAR ZERO

飲み撃ち放題 ¥3,000～

HP <https://www.sendai-zero.com/sp/>

facebook <https://www.facebook.com/#!/ShootingDarts-Bar-ZERO-198429897186401/>

Twitter <https://twitter.com/zero201606?s=06>

シューティング&ダーツバー
 Shooting&DartsBar
ZERO
 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-5-7
 シエロー一番町4丁目ビル地下1階
TEL:022-796-0668

【Open time】
 月～木 6:00pm～3:00am
 金・土・祝前日 6:00pm～5:00am

第6回例会

6月13日(木)、第6回例会がエルパーク仙台にて開催されました。

第1部では、JCI副会頭をはじめ、国際に対しての豊富なご経験をお持ち



2019
6.13
thu

の天木一貴先輩をお呼びして、JCIの事業である国際アカデミーの開催意義、日本で開

催される経緯、主管LOMでの役割や開催益についてお話いただき、国際アカデミー事業全体のイメージと開催目的や開催益についてメンバーが学ぶ機会となりました。

第2部では、天木一貴先輩に加え、仙台JCIの特別会員でもある杉山純一先輩、本年度一般社団法人熊本青年会議所理事長でもある大館敬七郎君によるトークセッションを行いました。パネリストそれぞれの立場から、国際アカデミーにより国際の機会を創り出す必要性や地域への社会的波及効果をお話しいただくことで、メンバー一人ひとりがグローバルネットワークワーカール意識を高める機会となりました。

仮会員セミナーⅡ

6月15日(土)、仙台迎賓館斎苑にて、2019年度新入会員に向けた仮会員セミナーⅡを開催いたしました。仮会員セミナーⅡでは、仙台の地域課題に



2019
6.15
sat

ついて考え、課題解決に向けたプロセスを学ぶことで、青年会議所運動についての理解

と仙台JCI正会員としての意識を高める場となりました。

セミナーでは、外部講師として仙台市副市長 高橋新悦氏をお招きし、仙台市を取り巻く状況と政策重点化方針についてご講演いただきました。また、青年会議所運動としての事業構築の考え方について、仙台青年会議所 副理事長 木皿護司君よりご講演いただきました。それらを踏まえ、仮会員全員で仙台市の地域課題について目を向け課題解決について話し合い、仙台市のより良い発展について深く考えること、仙台JCI正会員としての意識を高め、青年会議所運動について学びを得ました。

ASPACブース出展

2019
6.17-20
mon-thu



6月17日(月)～20日(木)大韓民国・濟州島でJCI ASPACが開催されました。ASPACは1年に1度、およそ1万人のJCIメンバーが各国から集まり、国や地域を越えた交流を図る絶好の機会となっています。各国の青年会議所がブースを出展するナショナルナイト(National Nights)も開催され、仙台青年会議所も出展いたしました。私たち仙台青年会議所メンバーも、普段会うことのできない姉妹JCIのアイランドJCI(香港)をはじめとする多くのアジア太平洋地域の仲間と交友を深め、意見交換を行い、非常に貴重な機会を得ることができました。

第2回JCIブランドカフェ

7月4日(木)、今年2回目を迎えますメディア関係者との交流会(第2回)



2019
7.4
thu

JCIブランドカフェを開催いたしました。今回の第2回JCIブランドカフェでは、仙台JCIが今後行う仙台七夕花火祭をはじめとした事業のご案内を行ったうえ、より効果的な情報発信を行うためには何が求められているのかについて、メディア関係者の皆様と意見交換を行う機会を設けました。仙台JCIの実施する多くの事業をより魅力的に見せる方法などを学び、組織全体のブランディング構築と広報力の向上を図り、メディア関係者の皆様との信頼関係を深める機会といたしました。

メディア関係者の皆様からのご意見を踏まえ、有効な情報発信を実施してまいります。

仙台Jr.C防災都市確立事業 大学生防災アカデミー(かがやけ未来のリーダー)

2019
6.25-29 10.24
Tue-Sat Thu



本事業は学生と市民が三位一体となり、コミュニティ防災向上を図り、広く発信し防災のプロフェッショナルに成長する事業で、防災研修3では、6月25日(火) 仙台市立片平丁小学校、6月29日(土) 仙台市立郡山小学校、10月24日(木) 仙台市立八木山小学校に出向き、しあわせな

黄色いハンカチプロジェクトを行い子どもたちに防災や減災を伝えました。

防災研修4では、7月13日(土) 仙台市民会館にて台湾での海外発信の準備会議を行い、仙台市の防災文化について学びました。台湾での海外発信事業に向けて有意義な時間を過ごすことができました。

2019
7.13
Sat



Jr.グローバルネットワーク 育成プロジェクト

2019
7.4-5
Thu-Fri



Jr.グローバルネットワーク育成プロジェクト事業を、7月4日(木)北中山小学校、5日(金)高砂小学校にて開催いたしました。両日10名の留学生が小学校を訪問し、仙台の国際化を

推進していく事業として、「小学生×留学生の相互理解プログラム」を実施しました。

第1部では自己紹介と互いの魅力共有、第2部では給食と掃除体験、第3部ではSDGsボードゲームと七夕短冊づくりを実施し、子どもたちの国際性に対する興味を向上させ、お互いの価値観や文化の違いを理解することで、積極的に国際交流できるJr.グローバルネットワークの育成を行いました。お互いの価値観を理解し、積極的に関わることができるJr.グローバルネットワークを育成し、仙台の国際化の推進に寄与してまいります。

新入会員バッジ授与式 第8回例会

2019
7.24
Wed



7月24日(水)トークネットホールにて新入会員バッジ授与式、第8回例会が行われました。新入会員バッジ授与式では、正会員になるためのス

テップをクリアした36名の新入会員にバッジが授与されました。

第8回例会では、第50回仙台七夕花火祭に向けた警備・クリーンに関する説明が行われました。本例会は、第50回目の仙台七夕花火祭開催に向けて、主催者としての意識や、安全安心でクリーンな花火祭を実現するための自覚と責任を再確認する機会です。仙台中央警察署の地域課課長である川野重之様による講演や警備エリアごとの説明会を通じて、今年も市民の皆様にご喜ばれる花火祭となるようメンバー一丸となって全力で取り組むことを再認識する機会となりました。

仙台JC子ども塾

2019年7月31日(水)から8月3日(土)に次世代育成事業『仙台JC子ども塾〜ぬまっちと行く心の船〜』を開催いたしました。

本事業では、学生リーダー6名と仙

台市の小学生49名が参加し、東京学芸

大学附属世田

谷小学校の沼

田晶弘先生の

帯同のもと、

仙台港から

フェリーに乗

り北海道に向

かい、登別市

ネイチャーセンターと仙台市の姉妹都市である白老町で研修を行いました。

子どもたちは団体生活の中で自己肯定感と社会的規範意識を育むプログラムを行い、非日常の生活を体験することで感謝の心や相手に対する思いやりを学びました。

学生リーダーにおいては、リーダーシップ論、コーチング論、モチベーションのコントロール方法から、信頼関係を構築する仕組み、意欲的になるための実践的な方法を学び、コミュニケーション能力を高めながら子どもたちを牽引することができ、最後には子どもたちから信頼される学生リーダーに成長することができました。

2019
7.31-8.3
wed-sat



東北青年フォーラム

公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会2019年度東北青年フォーラムin能代が9月6日(金)から8

日(日)の

3日間にお

たって開催

され、東北

6ブロック

77の青年会

議所の会員

が一堂に集

いました。

本フォーラ

ムは「奮い

立て！〜まちに寄り添いより能く東北を代え、心踊る未来を創ろう〜」というスローガンが掲げられ、当事者意識をもって自らを奮い立たせ、地域と人が豊かにつながる、結いの精神溢れる東北を実現させるべく果敢に挑戦するという決意が込められています。大懇親会では、仙台JCのブースを出展し、秋田の名産である白神ねぎを乗せた牛タン焼きを提供して、東北各地の会員から好評をいただきました。東北77青年会議所の会員と開催地である能代市民に対して、地方創生の当事者意識を高め、持続可能な社会に向けてポジティブな変化を巻き起こす大会となりました。

2019
9.6-8
fri-sun



第50回仙台七夕花火祭

2019年8月5日(月)第50回目の節目を迎えた仙台七夕花火祭を開催いたしました。

今年『つなぐ〜夢と希望溢れる仙^{まち}の創造に向けて〜』とのテーマのもと、仙台七夕花火祭を通して、地域への愛着や誇りを市民の皆様にかけていただくことで仙台がより良いまちになっていくことを切に願い、実施いたしました。

約1万6000発の花火を事故なく打ち上げることができ、また、約

50万人という多くの皆様にご来場いただきました。これもひとえに関係者並びに市民パートナーの皆様から募金活動や警備など大変多くのご協

力を賜ったことによるものです。また、花火祭の翌8月6日午前5時より、パートナー、出店業者の方々と協力して早朝クリーン活動を行いました。

ご協力いただきました全ての方々に深く感謝すると共に、厚く御礼を申し上げます。

2019
8.5
mon



防災都市確立事業

防災都市確立事業 大学生防災アカデミーががやけ未来のリーダー「海外発信事業」を、9月12日（木）から13日（金）まで、台湾にて実施いたしました。仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市の消防局視察と南台科技大

学にて国際交流防災プログラムを開催、台南市消防局視察では消防局内の防災館を視察し、復興の状況を学ぶことで海外の防災文化に触れることができました。また、南台科技大学では国際交流防災プログラムとして南台科技大学の授業の中で仙台市の防災文化を発信しました。参加学生が学んだそれぞれの災害特性を発表し、南台科技大学生とともに防災という枠組みの中からお互いに防災意識を高め、各々が住むまちでの防災の取り組みや防災対策を意見交換し、交流を深めることができました。仙台青年会議所では引き続き、防災都市確立事業を通じて、防災力を高めた学生たちが主体となって世界の人々に仙台市の防災文化を発信し、世界の防災文化の発展に貢献してまいります。

2019
9.12-13
thu-fri



第2回通常総会・第10回例会

2019年9月18日（水）に、公益社団法人仙台青年会議所2019年度第2回通常総会および第10回例会を仙台市戦災復興記念館にて開催しました。

第2回通常総会の審議事項として、2020年度の理事長予定者、監事予定者、三役並びに理事予定者の選任などが審議され、可

決承認されました。また、報告事項として、2019年度上期事業報告や会計報告を行いました。第10回例会は、「一歩を踏み出す勇氣を伝えるリーダーたれ」と題し、元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子様を講師としてお招きし、第1部として講師が大事にされてきたリーダーとしての想い等について講演いただきとともに、第2部として2019年度理事長武山祐樹君とのパネルディスカッションを行い、我々仙台JCIのメンバーが今後の活動において理念を打ち立て、さらに積極的に活動していくための学びを得る機会となりました。



第11回例会（公開例会）

10月19日（土）、公益社団法人仙台青年会議所2019年度第11回公開例会を、宮城野区文化センター／パトナホールにて開催いたしました。

本公開例会は、「仙台JCI子育て塾 子どもたちの笑顔溢れる仙台の実現目指して」と題し、第1部では7月31日から8月3日に実施しました「仙台JCI子ども塾ぬままつちと行く心の船」の学生リーダーによる

2019
10.19
sat



第3回JCIブランドカフェ

10月29日（火）、メディア関係者との交流をする第3回JCIブランドカフェを開催いたしました。

メディア関係者の皆様との繋がりを構築することによって、仙台青年会議所の運動へのご理解と社会的認知度を高め、地域や市民の皆様からの共

る事業報告があり、第2部では船の事業にもご同行いただきました。東京学芸大学附属世田谷小学校教諭の沼田晶弘様と、宮城教育大学学長特別補佐特任教授の野澤令照様をお招きし「持続可能な豊かな教育環境を目指して」をテーマに地域協働教育力についてトークセッションを行いました。第3部では沼田晶弘先生による子どもたちと信頼関係を構築する仕組みと、子どもたちが意欲的にするための方法についてワークショップを行いました。本例会を通して、親や地域の大人が当事者意識を持って子どもたちと接する大切さを学ぶ機会を提供いたしました。

感と信頼を深めるために実施しているものです。今回の第3回JCIブランドカフェでは、第1部では仙台青年会議所が本年度実施しました事業のご報告を行い、より効果的な情報発信を行うためには何が求められているのかについて、メディア関係者の皆様と意見交換を実施いたしました。第2部ではご来場いただきましたメディア関係者の皆様と交流懇親会を開催し、より深くお話しする機会を得ることができました。メディア関係者の皆様からの貴重なご意見を参考にし、仙台青年会議所の実施する多くの事業をより魅力的に地域に発信する方法などを学ばせていただきました。

2019
10.29
tue



世界会議

11月4日(月)より11月8日(金)まで、エストニア・タリンにおいてJCI世界



CI世界会議(JCI WORKING WORLD CONGRESS)が開催されました。世界会議とは、世界で4つのエリアに分かれる。国際アカデミー誘致を見据える仙台JCIメンバーにとっては、多くの国外メンバーとの交流を通じて、見識を深める機会となりました。

れる国際青年会議所(JCI)の全てのエリアの青年会議所メンバーが集まって行う会議で、世界各国のメンバーと友好を深める絶好の機会です。日本各地の名産品の提供や文化体験など様々なコンテンツを提供するジャパンナイト(Japan Night)では、仙台JCIもブースを出展し、仙台七夕まつりと、仙台発祥の郷土芸能であるすずめ踊りについての展示を行い、仙台の認知度を高め、世界各国のメンバーと交流を図りました。

仙台JCI防災フェス 市民が繋がる防災都市づくり

11月16日(土) 中小企業活性化センター5階・多目的ホールにて仙台JCI防災フェスを実施いたしました。仙台市、SBL(仙台地域防災リーダー)をはじめとする町内会関係者、防災に取り組む企業、団体との連携のもと、多くの市民の方々に防災や減災、気候変動リスクについて発信いたしました。

盛會に開催されました本事業では、それぞれのブースに参加いただいた皆様に、楽しみながら防災について学んでいただくとともに、東京臨海

広域防災公園 管理センター副センター長の澤善裕様のご講演において、災害に備える意識や、気候変動リスクへの意識を高めることができました。

2019
11.16
sat



ホームセレクト



12/2
オープン!

南光台本店



☎ 0120-344-480

〒981-8003 仙台市泉区南光台3丁目22-21
TEL.022-343-1480 FAX.022-343-1490

若林店



☎ 0120-349-480

〒984-0838 仙台市若林区上飯田1丁目15-37-101
TEL.022-355-9480 FAX.022-355-9483

宮城野店



☎ 0120-382-480

〒983-0013 仙台市宮城野区中野字神明166-3
TEL.022-259-5480 FAX.022-259-5481

ナイスクリーン株式会社



自然環境を再生し、豊かな地球を創造する

伐採・木材リサイクル・森林管理・中間処理業

ナイスクリーン株式会社

TEL:022-393-2205 FAX:022-393-2207

Mail:info@nice-clean.co.jp

 相原 健二 シービーアールイー株式会社	 浅野 峻一 浅野協同法律事務所	 荒川 広之 有限会社ミリオン商事	 伊藤 一樹 株式会社タックス宮城野	 伊藤 啓 株式会社アイヒェジャパン	 伊藤 俊吾 株式会社BWM
 江村 真理 株式会社江村工務店	 大宮 善博 株式会社シー・バイ・シー	 大村 芳夫 株式会社ワールドアイシティ	 岡崎 啓祐 株式会社岡崎工業	 小笠寺 喬 株式会社フラクタル・クリエイト	 菊池 涼 HIGHBURY
 岸谷 友紀江 ジブラルタ生命保険株式会社	 黒島 悠基 建設連合・東北地区労働保険振興会	 小滝 学 株式会社那栄不動産	 今野 円海 泉開発興業株式会社	 齋 崇 株式会社齋テント	 佐藤 京介 株式会社タイハク

公益社団法人仙台青年会議所

2019年度 新入会員のご紹介

本年度**36名**が
同志として当会議所に
入会しました。

 佐藤 祐規 株式会社孔栄社	 佐藤 幸大 株式会社丸佐商店	 高崎 明德 東照宮	 高橋 裕介 株式会社アパディーン	 高橋 翼 ソニー生命保険株式会社	 田村 勝明 株式会社KRS
 丹野 昂也 株式会社竹中工務店	 土屋 陽平 株式会社土屋総合	 豊川 竜司 NONBEE	 西尾 将 有限会社ニシオ不動産	 布木 綾 法律事務所ポラリス	 野田 峻也 シー・アール・イー株式会社
 畠山 欣也 株式会社D.force	 林 健太 SC株式会社	 松本 純弥 松本事務機株式会社	 水野 翔平 訪問鍼灸マッサージ メディカルリンク	 宮内 祐弥 株式会社ACT	 宮本 光貴 OUIけ

AD

Packaging

Create the design for  Value for PKG

www.yamadaseikan.com

内ヶ崎法律事務所



〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目17番20号 グランドメゾン片平503
 TEL:022-397-7307 FAX:022-397-7308
 弁護士 内ヶ崎 裕之

コインランドリー
アジュール

仙台市青葉区八幡3-1-55 ルミエールセブン 1F



株式会社 STNS

建築業許可番号 宮城県知事許可（般-30）第21804号

〒982-0263 仙台市青葉区茂庭字松倉 12-1
 資材置場／仙台市太白区茂庭梨野東 4-1
 TEL・FAX 022-281-8376

次年度理事長挨拶



公益社団法人 仙台青年会議所
2020年度 第69代理事長予定者

木皿 譲司

Work Together to Create the Future.

「我々は、自らの勇気ある一歩が仙台の未来を創造することを信じ、市民一人ひとりの成長と行動を地域の発展につなげ、至誠の精神のもと市民協働による新たな時代を切り開こう。」

「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」これは、誠の心をもって

気づきや学びが、私の価値観を社会性溢れるものに導いてくれました。

て尽くせば動かなかった人など今まで誰もいないという意味であり、私の人生における行動規範となっている儒学者、孟子の教えです。

私たちが理想とする仙台の実現には、誠の心をもって能動的に行動する「至誠の精神」が必要であり、市民一人ひとりが至誠を尽くし、未来を見据えて行動していくことで、誰もがしあわせを共感できる仙台が創造されると確信しております。

私は、社会起業家を目指し、企業理念の確立と、より良い影響を齎す社会活動の実現において自身に足りないものを模索していた中で、仙台青年会議所に入会いたしました。入会から10年に亘るJC活動の中で、地域運動にひたむきに取り組む仙台JCメンバー一人ひとりの誠の心に触れることにより、私の心が突き動かされ共にJC運動に励んだメンバーから受けた数々の

2020年度、仙台JCは、至誠の精神のもと市民一人ひとりの仙台に対する想いと行動を新たな時代を切り開く推進力につなげ、誰もがしあわせな未来を想い描くことができる仙台を実現するよう、地域や市民の皆様とともに地域運動を展開して参ります。

に励んだメンバーから受けた数々の

2020年度、仙台JCは、至誠の精神のもと市民一人ひとりの仙台に対する想いと行動を新たな時代を切り開く推進力につなげ、誰もがしあわせな未来を想い描くことができる仙台を実現するよう、地域や市民の皆様とともに地域運動を展開して参ります。

略 歴

株式会社ニア 代表取締役

J C 歴

【LOM】

2010年 入会(会員開発委員会)
2011年 メディア戦略委員会
2012年 七夕花火祭特別委員会
2013年 地域協同開発委員会
2014年 七夕花火祭特別委員会
2015年 仙台の魅力創造委員会
2016年 例会委員会
2017年 会員室
2018年 思いやり溢れる仙台創造会議
2019年 副理事長

幹事
委員
委員
委員
副委員長
委員長
委員長
議長

【出向】

2015年 公益社団法人日本青年会議所
東北地区宮城ブロック協議会
総務委員会 幹事
2017年 公益社団法人日本青年会議所
世界の中日本確立委員会 委員
2019年 公益社団法人日本青年会議所
国際アカデミー委員会 副委員長

広報委員会委員長挨拶



広報委員会
委員長
古川 勇

広報誌「のぞみ」をご覧いただきまして誠にありがとうございます。本年度の仙台青年会議所は「感謝の心が漲る仙台の創造に向かつて守破離の精神を胸に」のスローガンのもと活動を行っていました。これを受けて、本年度の「のぞみ」は、3号でそれぞれ「守」「破」「離」をテーマに発行させていただきました。本号のテーマである「離」は自身の型を確立して師から離れることを意味しています。そこで、本年度の運動のご報告をさせていただくとともに2020年度へと引き継ぐという想いで発行させていただきました。これからも広報誌「のぞみ」では、皆様のご協力のもとで実施いたします事業などを随時ご報告させていただきますので、引き続きご愛読くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、広報誌「のぞみ」の発行にあたりましてご協力、ご支援を賜りました皆様から御礼申し上げます。今後とも仙台青年会議所を重ねてよりよく願ひ申し上げます。

のぞみ 2019.11 No.424